

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第 201 回国会】令和 2 年 3 月 11 日（水）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 本日で東日本大震災から 9 年を迎えるに当たり、亡くなられた方々に対し、黙祷をささげました。

2 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案（内閣提出第 25 号）

・江藤農林水産大臣、伊東農林水産副大臣、河野農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）重徳和彦君（立国社）、佐々木隆博君（立国社）、神谷裕君（立国社）、関健一郎君（立国社）、長谷川嘉一君（立国社）、屋良朝博君（立国社）

（質疑者及び主な質疑事項）

重徳和彦君（立国社）

（1） 法律案関係

ア 昨年 12 月 24 日に農林水産大臣に提出した「家畜伝染病予防法の改正についての要望書」（以下「要望書」という。）についての農林水産大臣の所見

イ C S F ワクチン非接種地域からの豚肉の輸出状況

ウ 海外からの畜産物の違法な持込みを入国拒否事由として法律に明記すべきという意見に対する政府の見解

エ 罰則強化に伴い、畜産物の違法な持込みに対し厳格に対応する必要性

オ 水際検疫による A S F ウイルス検出件数

カ 水際検疫等の人員を増員する必要性

キ 殺処分に伴う手当金交付関係

a 悪性伝染性疾病の患畜等の殺処分権限の所在

b C S F 発生農場のうちこれまでに経営を再開できた経営体数

c 殺処分が行われた農場に対する手当金の交付状況

d 手当金の算定根拠の見直しの有無についての事実確認

e 手当金が迅速に交付されるために手続を改善する必要性

（2） 養豚農家による飼養衛生管理基準の遵守のために、議員立法による検討が進められている養豚農業振興法改正案の趣旨に基づいて財政支援を行うことについての農林水産大臣の見解

佐々木隆博君（立国社）

（1） 新型コロナウイルスによる農業分野の技能実習生の受入れ等への影響及びその対策

（2） 食料・農業・農村基本計画について閣議決定前に本委員会で議論を行うことに関する農林水産大臣の見解

（3） 法律案関係

ア C S F 発生及び対策の現状

イ 過去の C S F 清浄化の経緯を踏まえ、清浄化に向けた対策を行う必要性

ウ 要望書の内容を踏まえた水際対策等の取組姿勢

エ 初期の C S F まん延防止対策の妥当性

オ 飼養衛生管理基準の遵守に係る都道府県知事による勧告・命令を法定受託事務として措置することに対する農林水産大臣の見解

カ 飼養衛生管理基準の遵守等のために協議会を活用する必要性

キ 飼養衛生管理基準の遵守に必要な取組に対する支援を行うために養豚農業振興法を改正すること

についての農林水産大臣の見解

**神谷裕君（立国社）**

- (1) 東日本大震災からの復興に向けた農林水産大臣の決意
- (2) 法律案関係
  - ア C S F 発生の現状
  - イ 野生イノシシ対策における経口ワクチン散布関係
    - a 経口ワクチン散布地域の設定の考え方
    - b ワクチンベルトの見直し及び野生イノシシにおける感染の状況
    - c 経口ワクチンの有効性及び散布の効果
    - d 春の野生イノシシの行動範囲の拡大に関する懸念
    - e 温暖化によるイノシシの出産回数の変化の有無
    - f ワクチンが投与されたイノシシから生まれたイノシシにワクチンを投与する必要性の有無
  - ウ 沖縄県での C S F の発生状況及びワクチン接種状況
  - エ 法律案における発生予防措置とまん延防止措置の整理の内容
  - オ 自治事務と法定受託事務に分かれる発生予防措置とまん延防止措置を切れ目なく実施する必要性
  - カ 飼養豚のワクチン接種についての自治体からの申出の在り方
  - キ 飼養衛生管理基準の遵守の状況

**関健一郎君（立国社）**

- (1) 新型コロナウイルス関係
  - ア 生乳生産量及び学校給食への仕向け量
  - イ 学校給食中止により不要となった生乳の消費に向けた生産者団体、乳業メーカーの取組
  - ウ 酪農・乳業に対する支援策
  - エ 需要期である3月における花きへの影響の概況
  - オ 花きの生産・流通に対する支援策及び花きの販売拡大に向けた取組
  - カ 今後影響が懸念される分野
- (2) 法律案関係
  - ア 飼養衛生管理基準の見直し内容、見直しによる生産者への負荷及び支援策
  - イ 罰則強化による飼養衛生管理基準の遵守命令違反に係る抑止効果
  - ウ 野生イノシシの捕獲支援策を強化する必要性
  - エ 家畜防疫官の数及び出入国者数に対する割合

**長谷川嘉一君（立国社）**

- (1) 新型コロナウイルスによる生産・流通への影響についての認識及び対策
- (2) 食料自給率関係
  - ア 現状及び向上対策についての農林水産大臣の所見
  - イ 目標達成への農林水産大臣の決意
- (3) 法律案関係
  - ア 衛生管理区域ごとに飼養衛生管理責任者を設置する理由
  - イ 水際における A S F ウイルス遺伝子の検出件数及びその時期
  - ウ 水際対策強化の取組及び広報の状況
  - エ A S F ワクチンの開発に係る各国の状況及び我が国の取組

屋良朝博君（立国社）

法律案関係

- ア C S F ウイルスの沖縄への感染経路についての分析
- イ C S F ウイルスに感染した豚の肉が流通する可能性
- ウ 食品の国内移送におけるC S F まん延防止策を検討する必要性
- エ 沖縄のブランド豚「アゲー」の保護についての農林水産大臣の所見及び今後の方向性
- オ 飼養衛生管理基準の見直しによるエコフィードの加熱処理条件の変更時期及び生産農家に対する政策的支援の必要性
- カ エコフィードの加熱処理の基準についての国際的な趨勢及び科学的知見
- キ C S F の発生農場における従業員への手当に対する支援策